

アンサンブル室町 による室町のミサ

川口総合文化センター
リリア音楽ホール

2023.06.30 (fri)

18:30 open / 19:00 start

室町のミサ

Messe de Muromachi

(委嘱作品・初演)

作曲 - 柿沼 唯

舞踏 - 田中誠司

芸術監督 - 大平健介

謎に触れて、謎の中に入っていく。
ただそれだけで、どこまでも、
どこまでも、どこまでも、どこまでも……
考えるな、映せ。
探すな、ある。



川口総合文化センター リリア音楽ホール

2023.06.30 (fri)

18:30 open / 19:00 start

上演時間：1 時間 20 分 (予定)

チケット 全席自由

2 月13日(月) 10:00 発売

前売 一般 4,500 円、学生 2,500 円

当日 一般 5,000 円、学生 3,000 円

チケット取扱い

カンフェティ

電話予約：0120-240-540 *通話料無料

(受付時間 平日 10:00 ~ 18:00 ※オペレーター対応)



<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

リリア・チケットセンター

電話予約：048-254-9900 (10:00 ~ 19:00)

※窓口での販売もございます

和楽器

尺八 黒田鈴尊

筆箏 三浦元則

笙 石川高

箏 日原暢子

琵琶 久保田晶子

古楽器

Violin 須賀麻里江

Violin 高岸卓人

Viola da gamba 和田達也

Violoncello 山田慧

Cembalo 柴形亜樹子

Organ 大平健介

Counter tenor 久保法之

会場アクセス

川口総合文化センター・リリア音楽ホール

〒332-0015 埼玉県川口市川口 3-1-1

TEL 048-258-2000

JR 京浜東北線 川口駅 西口正面

■東京駅から JR 京浜東北線で約 25 分

■新宿駅から JR 埼京線～赤羽駅乗り換え～

JR 京浜東北で約 22 分

■大宮駅から JR 京浜東北線で約 21 分

時は室町時代後期。ヨーロッパよりキリスト教とともに西洋音楽が日本に伝来した。日本人の心に初めてキリスト教信仰の火が灯されたとき、古来の和楽器と西洋の楽器を持ち寄って、こんなミサが行われていたとしたら……そんな想像が生み出す架空のミサ。アンサンブル室町ならではの和楽器 & 古楽器のハイブリッドが、大オルガンと対峙して奏でる祈りの音楽に、舞踏家がその肉体を通して「根源的な何か」をもたらす。

柿沼唯

僕が踊りを踊る上で、一番大切にしていることは、肉体と空間と精神の震えです。それは即ち、今、生きているということの証です。そういう意味では、古楽器もまた、時を超えて、あらゆる震えと共に生き続けてきたのではないのでしょうか？ 瞬間に賭ける舞踏家の肉体と、東西の古楽器が出逢った時、そこにはどんな新たな震えが生まれるのか？ 震えに触れることが出来るのは、震えだけ。

田中誠司



田中誠司 Seiji Tanaka

大野一雄舞踏研究所にて、大野慶人に師事。

2011 年、郷里の奈良に田中誠司舞踏スタジオを開設。同年 5 月、日独交流 150 周年記念の一環として招待を受け、「デュッセルドルフ舞踏フェスティバル」に出演し、好評を得る。

近年の主な活動として、2017 年、2019 年、2021 年、ドイツ 4 都市、ベルギー、スイスにて、舞踏公演 & ワークショップツアーを行う。

その他、国内及びヨーロッパ各地で精力的に公演やワークショップを続けている。

<http://web1.kcn.jp/seijitanaka/>



柿沼唯 Yui Kakinuma

東京藝術大学作曲科卒。松村禎三、永富正之、尾高惇忠の各氏に師事。武満徹氏のアシスタントを務める。日本交響楽振興財団第 9 回作曲賞入選。第 3 回「今日の音楽」作曲賞第 2 位入賞。第 1 回出光音楽賞受賞。国内外のオーケストラから作品の委嘱を受ける他、オルガン曲も数多く手がけ、2010 年にはサン＝ペルラン・ド・コマンジュ（フランス）のオルガン作曲コンクールで、＜巡礼の笛＞が Marcelle et Robert de Lacour 財団賞を受賞。2021 年には能とパイプオルガンと合唱のためのオペラ「天鼓」が初演され、好評を得た。武蔵野音楽大学非常勤講師。聖グレゴリオの家宗教育音楽研究所講師。

アンサンブル室町 Ensemble Muromachi

ヨーロッパと日本の《古楽器》、すなわちヨーロッパのルネサンス・バロック時代の楽器と日本の伝統楽器による世界で初めてのアンサンブル。2007 年にフランス人チェンバロ奏者で作曲家のローラン・テシュネを代表として結成され、同年『豊臣秀吉の夢』と題する旗揚げ公演を北とびあ国際音楽祭（つつじホール）にて開催。室町という名称は、ヨーロッパの楽器が日本へ伝来した室町時代（16 世紀）に由来している。これまでに様々な作曲家、ダンサー・舞踏家、俳優、声楽家など、多彩なジャンルのアーティストと共に「ヨーロッパ+日本」という複文化の対話から、新しい芸術的表現の創造をめざしたコラボレーションを続けてきた。現在のアンサンブルメンバーには、60 人以上の邦楽奏者、西洋古楽器奏者を数える。2012 年には一般社団法人アンサンブル室町を設立。2013 年にサントリー芸術財団第 13 回佐治敬三賞を受賞。2022 年より芸術監督に大平健介が就任。



黒田鈴尊



三浦元則



石川高



日原暢子



久保田晶子



須賀麻里江



高岸卓人



和田達也



山田慧



柴形亜樹子
撮影：林喜代輝



大平健介
©Julian Rettig.jpg



久保法之